

研究開発



～ぴったり技術で明日をつくる Sticking to your needs～

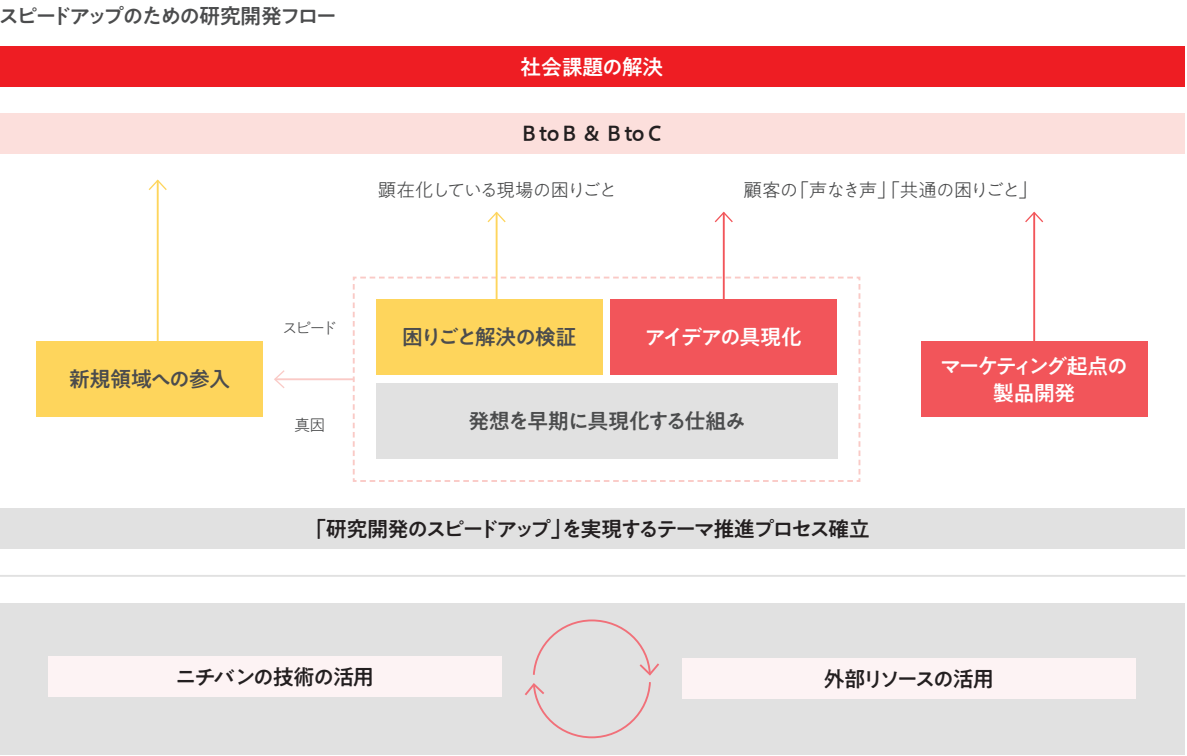
ニチバングループの強みである粘着技術をベースに、社会課題や環境課題の解決につながる技術開発・製品開発を通してサステナブルな社会や快適な生活に貢献していきます。

上席執行役員
研究開発本部長
岡井 和久

研究開発の方針

ニチバンのコア事業である粘着製品には、適切な粘着強度や耐候性、使用性、透湿性、低刺激性など、さまざまな機能が求められます。ニチバンは長年にわたり培った技術を活かし、最適な粘着剤や基材の設計、各種原材料の選択と調整、塗工技術、剥離

技術、加工技術などを組み合わせて製品を製造しています。これらの技術を活用して、快適な生活をサポートするために今後も高機能で高付加価値な製品を開発し、提供することを目指しています。さらに、新しい領域にも積極的に挑戦し、より多くの人々のニーズに対応する製品を提供していくことで、社会への貢献を継続していきます。



2023年度の実績と2024年度に向けて

2023年度を最終年度とする前中期経営計画【ISHIZUE 2023～SHINKA・変革～】では、「中長期成長エンジンの確立、イノベーション創出」を重点テーマとして取り組んできました。2023年度には各フィールドで新製品の開発と販売に取り組み、新製品売上比率は目標の10%台に対して6.2%という結果でした。しかし、新たな技術の研究や新製品の創出にも力を入れ、成果

を上げています。また、2021年度に設立したイノベーションセンターを中心に新規事業の探索を進め、事業化に向けた検討を進めています。さらに、イノベーション人財の育成にも力を入れています。2024年度では、前中期経営計画で築いた基盤を強化し、新たな価値創造、人財育成、社会貢献に向けた取り組みをさらに推し進めていきます。これらの取り組みを通じて、企業の持続的な成長と発展に貢献していく方針です。

新中期経営計画に向けた戦略

新しい中期経営計画では、ヘルスケアやグローバル事業の成長拡大、医療・コンストラクション・モビリティ分野での新領域への挑戦、そして新製品開発や持続可能な社会貢献に焦点を当て、新たな市場開拓や事業推進を行います。具体的には以下の3つのイノベーションを目指します。

① プロダクトイノベーション：

- 顧客ニーズに基づく新規事業創出とグローバル展開の促進
- 医療や工業向けの製品技術をコンシューマー向けに展開
- 開発、営業、技術・生産部門の連携と迅速な開発

② プロセスイノベーション：

- 新しい生産方式や無溶剤技術の導入による新製品開発
- 環境負荷削減や生産性向上への取り組み

③ オープンイノベーション：

- ニチバンのコア技術と新技術・サービスの統合による新領域での価値創造
- 社会問題に対する革新的なソリューションの創出
- 国内外のリソースを活用し、アライアンスやスタートアップ、産官学連携を推進

これらの取り組みを通じて、持続的な成長と発展を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。

知的資本の取り組み

ニチバンは、研究開発で培った技術を活かし、さまざまな製品を生み出しています。新たな価値創出を進める中で、知的財産の重要性がますます高まっています。第三者の知的財産権を尊重し、自社の製品や技術を守り利益を確保するために、知的財

産の権利化や維持を励行し、持続的成長を支える要素と考えています。社内では知財教育を推進し、海外展開に適した知的財産の取得にも取り組んでいます。さらに、社外との協働によるイノベーション創出を促進するため、研究開発をサポートする体制の構築を進めています。